



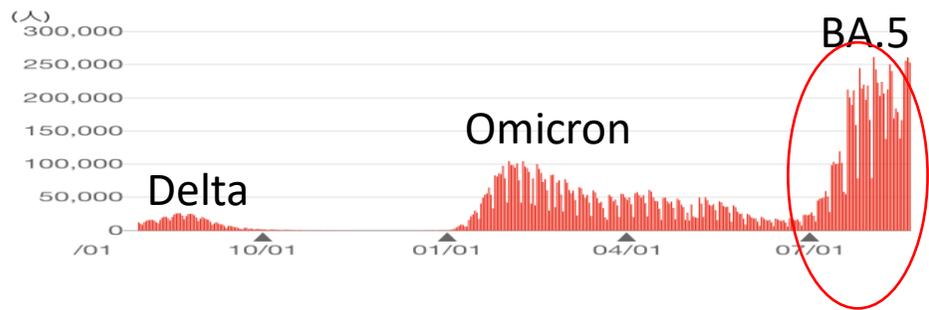
# 感染症は割合（％）ではなく、総数が問題

## 新規陽性者数の推移（日別）

情報更新日：2022年08月20日

新規陽性者数	1週間平均	前週平均
<b>253,248</b> 人	<b>212,045</b> 人	<b>199,964</b> 人
前日比 <b>↓ 7,756</b> 人		

グラフ表示期間 1週間 1か月 3か月 1年

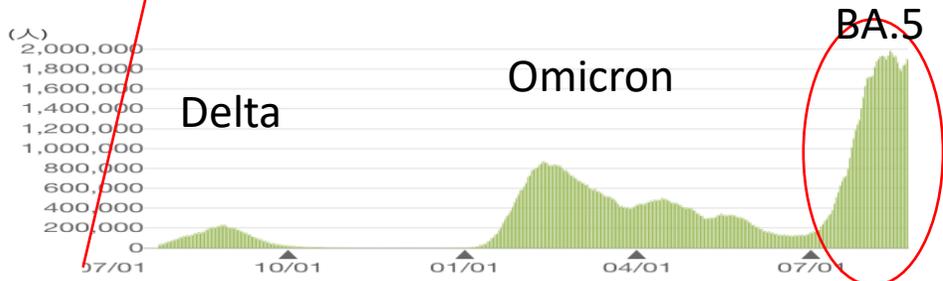


## 入院治療等を要する者等推移

情報更新日：2022年08月20日

入院治療等を要する者	<b>1,902,304</b> 人	<b>↑</b>	<b>46,601</b> 人
退院又は療養解除者数	<b>14,854,108</b> 人	<b>↑</b>	<b>189,787</b> 人
確認中	<b>127,801</b> 人	<b>↑</b>	<b>19,168</b> 人

グラフ表示期間 1週間 1か月 3か月 1年



入院治療必要患者急増

オミクロン株、特にBA.5の方が死亡者数多い

## 死亡者数の推移

情報更新日：2022年08月20日

死亡者数	前日比	死亡者数急増 今後さらに増える！
<b>263</b> 人	<b>↓ 20</b> 人	

グラフ表示期間 1週間 1か月 3か月 1年

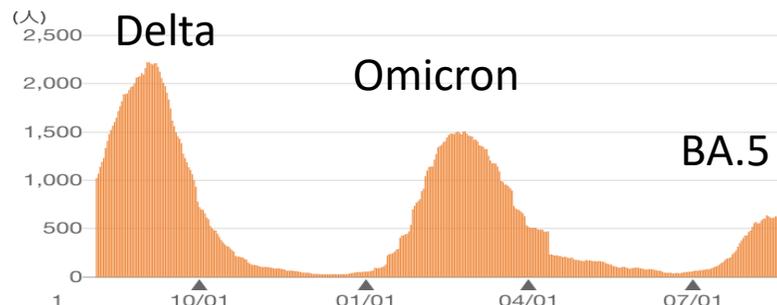


## 重症者数の推移

情報更新日：2022年08月20日

重症者数	前日比
<b>632</b> 人	<b>↑ 16</b> 人

グラフ表示期間 1週間 1か月 3か月 1年



施設で亡くなった人は重症者にカウントされない

## 性別・年代別新規陽性者数（週別）

情報更新日(週次)：2022年08月09日



現在家庭内感染期  
これから  
高齢者・福祉施設  
の感染が増加する

上記グラフに以下の人数は含まれない。  
性別・年代不明・非公表等 12,141 人

現在50歳以下が感染者の主流→高齢者に以降→**死亡者数増加**  
↓  
乳幼児の感染者増加→**医療機関職員感染&濃厚増加**→**機能不全**

1. 数的医療崩壊（数による圧迫）
2. 質的医療崩壊（重症による圧迫）
3. 医療機関機能不全による医療崩壊

3つの医療崩壊  
パターン

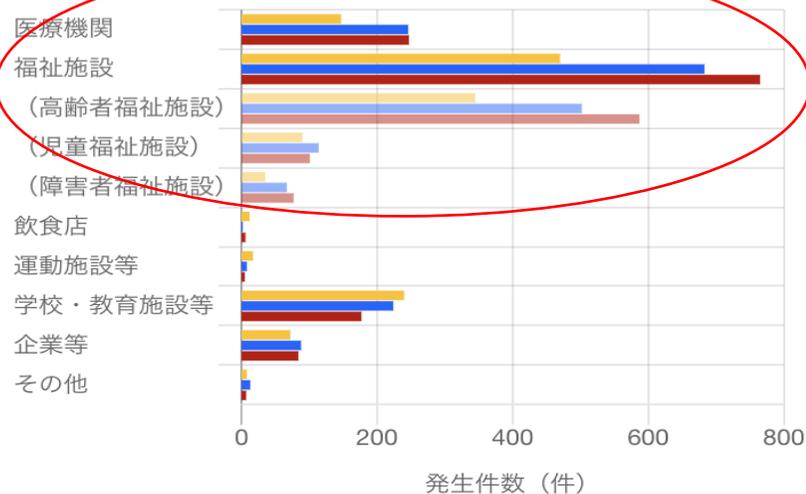
対策

行動制限  
ワクチン接種  
早期治療

## 集団感染等発生状況

情報更新日(週次)：2022年08月11日

1週間前 (1週間合計)	2週間前 (1週間合計)	3週間前 (1週間合計)
1291 件	1264 件	966 件



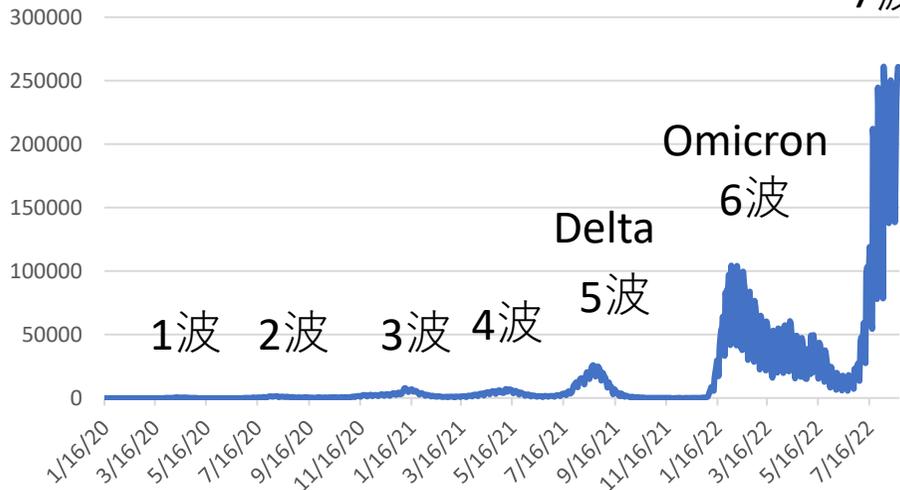
医療・福祉施設のクラスター増加



死亡者数増加

# 全国

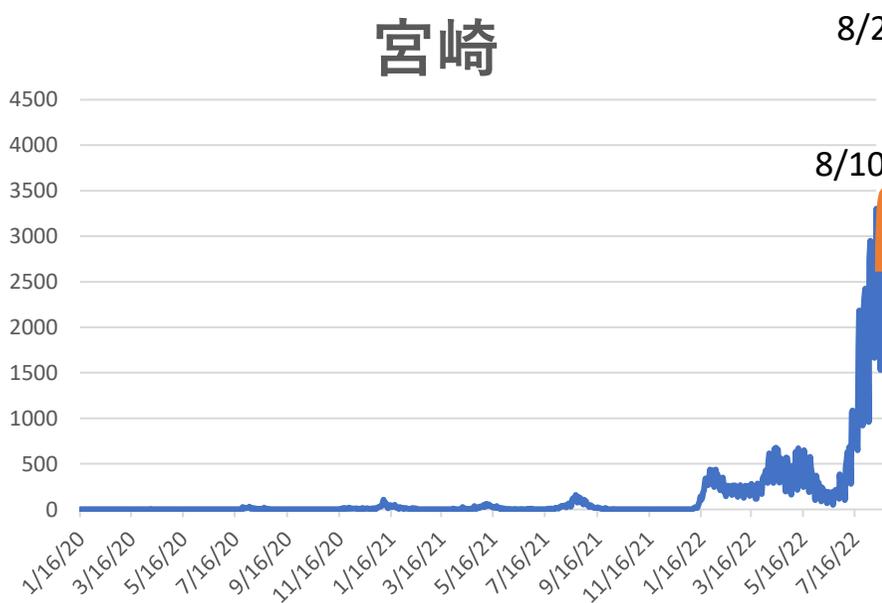
BA.5  
7波



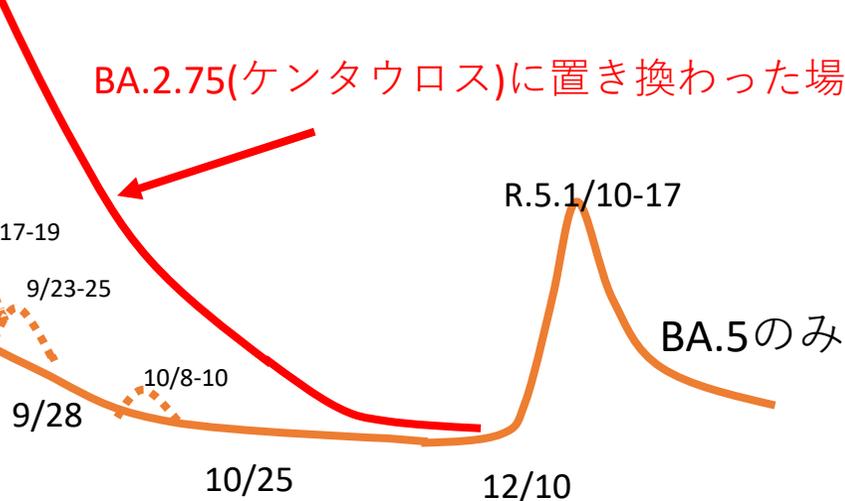
**増加要因**  
8月下旬  
お盆の人流の影響  
各種イベント開催  
  
9月  
学校：2学期再開  
連休：9/17-19, 9/23-25  
  
4回目ワクチン接種伸び悩み  
  
海外からの人流増加

**減少要因**  
8月下旬  
人流少し減少傾向  
感染防御動向の変化  
  
9月  
換気しやすくなる（気温低下）  
小児ワクチンの努力義務化  
ノバックスワクチン供給増加  
  
10月後半には、オミクロン対応2価ワクチン開始ああああ

# 宮崎



BA.2.75(ケンタウロス)に置き換わった場合



— BA.5のみ  
— BA.2.75(ケンタウロス)

# 職場での感染管理の曖昧化

- 感染拡大に伴い、職場内の感染が頻発している
- 以前のように、保健所の職場への感染拡大防止（クラスター発生抑制）の介入が無くなったため、職場内感染対策がルーズになりつつある
- 感染者なのに出勤したり、濃厚接触者なのに出勤することあり
- また、症状があるのに出勤したり、検査をして陽性になったら休まないといけなから病院受診しない社員もいる
- 職場での感染拡大を防止しなければ、職場から家庭や施設へ感染が波及し、高齢者・基礎疾患患者・乳幼児が危険にさらされることになる→重症者・死者の増加
- 現時点で、職場での感染拡大防止をもう一度確認することが必要である

# 「職場（事業所）で感染者発生」どうする？

(高齢者・障害児者施設、入院医療機関等(ハイリスク施設)及び保育所等を除く)

- 1 感染者からの聞き取りで発症日(無症状の場合は検体採取日)を確認
- 2 感染可能期間(発症2日前から最終接触日まで)に接触のあった方について、次の状態と場面をどちらも満たす方(濃厚接触者)をリストアップ。

## ■感染可能期間

- 感染者が有症状の場合 症状が発現した日の**2日前**から  
令和 年 月 日 ~
- 感染者が無症状の場合 検体を採取した日の**2日前**から  
令和 年 月 日 ~

## ■感染者との接触

- 感染者と最後に会った日(最終出勤日)

令和 年 月 日

## 感染可能期間中に以下のような接触をしたか確認

1 の状態で 2 の場面のどれかに該当すると「感染の可能性あるものとして濃厚接触者になります」

- 1 (状態)  お互いにマスクなしで、手が触れる距離（1 m程度）で15分以上会話した
- 2 (場面)  食事を会話しながら一緒に食べた  
 換気の悪い部屋で作業した  
 狭い喫煙スペースでタバコを吸った  
 車に同乗した  
 同じ寮内で生活(共有部分の利用等)  
 上記と同等の接触場面

**職場で濃厚接触者と認定**

## 職場で濃厚接触者と認定されたら

- 1 職場から濃厚接触者と伝えられる
- 2 感染者との最終接触日\*の翌日から 5 日間自宅待機  
(\*最終接触日をゼロ:0日とします 例8/1接触、8/6解除)
- 3 待機期間中は出勤せず、不要不急の外出を控える
- 4 特に高齢者や基礎疾患のある人とできるだけ接触しないようにする
- 5 10 日間を経過するまでは検温など健康状態の確認する
- 6 保健所において、濃厚接触者に対する PCR 検査の実施はない
- 7 症状がある場合は、病院受診する
- 8 受診や相談する医療機関に迷う場合は、下記へ連絡する
- 9 感染者、濃厚接触者の職場復帰に陰性証明書は不必要

「新型コロナウイルス感染症受診・相談センター  
(24 時間対応)」 TEL0985-78-5670 にご連絡ください。

# 濃厚接触者の待機期間などの変更

発症日

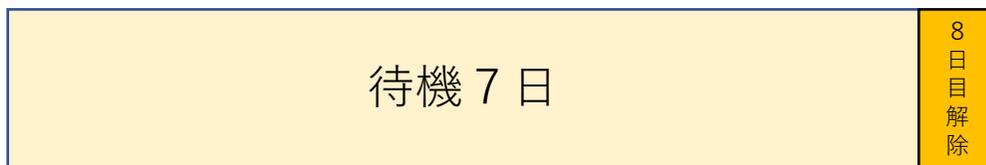
経過日数 0 1 3 5 7 10

感染者

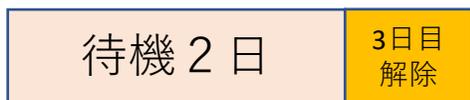
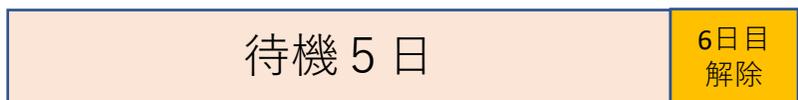


療養  
最短10日で解除  
(症状等で延長)

以前の濃厚接触者



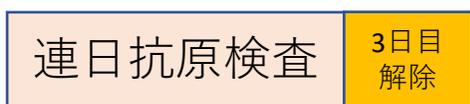
新運用の濃厚接触者



**抗原検査で2日目と3日目に2回続けて陰性→3日目に解除**

社会機能維持者であるか否かに関わらず検査すれば解除可能

勤務継続濃厚接触者



勤務継続可能者：応援などの代替が不能な場合かつ一定の条件を満たす必要あり  
高齢者・障害者施設、医療機関、保育所、幼稚園、認定こども園、小学校、義務教育学校、特別支援学校、放課後児童クラブなどの従事者

注意) 濃厚接触者の待機期間中に同居の濃厚接触者がコロナ陽性確認された場合

- 1) 新規コロナ陽性確認者と家庭内隔離ができている場合：期間のリセットなし
- 2) 家庭内隔離ができていない場合：期間がリセットされる

例) 8/1に濃厚接触者、8/3に同居の別の濃厚接触者陽性の場合

- 1) 家庭内隔離ができている場合は、8/6解除
- 2) 家庭内隔離ができていない場合は、8/8解除

# 濃厚接触者の待機期間

- 現在流行中のBA.2やBA.5の株は、潜伏期間短くかつウイルス排出期間も短い
- 社会の機能維持に短縮は必要と考えられる
- 背景には、医療・介護・福祉などの社会機能維持者の濃厚接触者増加による、医療・介護・福祉施設の機能不全がある
- 加えて、社会経済、教育などあらゆる分野において、早期の社会復帰が望ましい
- 新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者は、感染者と最終接触した日から**5日間（6日目解除）**、2日目及び3日目に**薬事承認された抗原定性検査キット**を用いた検査で陰性を確認した場合は、社会機能維持者であるか否かに関わらず、**3日目から解除が可能**
- ハイリスク施設や保育所等の従事者が濃厚接触者となった場合、外部からの応援職員等の確保が困難な施設であって、一定の要件（代替不能、ワクチン接種済み、無症状など）を満たす限りにおいて、待機期間中、毎日の検査による陰性確認によって、業務従事は可能
- 乳幼児は、抗原検査キットの使用を想定していないため5日間の待機
- 注意：解除後も発症の可能性があるので、検温等自身で健康状態の確認を行う必要がある
- 現在、濃厚接触者や感染解除の相談が保健所に多数あり、業務に支障をきたしている、不明な点は相談センターへの連絡をお願いしたい（0985-78-5670 24時間対応、土日も対応）